

○歯科保存学 2 : 529-4-DP2・DP3・DP4・DP6

年次	学期	学則科目責任者
4年次	前学期	*小方 頼昌 (歯周治療学)

学修目標 (G I O) と 単位数	<p>単位数：2単位</p> <p>G I O：歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床科目である歯科保存学を習得するために、正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応、治療に用いる材料など、今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	<p>1. 保存修復学の評価は、以下の評価割合で判定する（保存学2の1/3の評価分）</p> <p>1) 講義の評価は、平常試験を2回実施し、その評価の90%。原則的に追再試験は実施しない。</p> <p>2) 実習終了後に実習内容に関するレポートを提出し、その評価の10%。</p> <p>2. 歯内療法学の評価保存学2の1/3の評価分）。</p> <p>平常試験①、②による評価。原則的に追再試験は実施しない。</p> <p>3. 歯周治療学の評価保存学2の1/3の評価分）。</p> <p>平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。</p> <p>4. 1/5以上欠席した場合、評価点は0～60点とする。</p>

歯周治療学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	*小方 頼昌 (歯周治療学)

学修ユニット 学修目標 (G I O)	<p>日本の全年齢層において、約80%の人が歯周病に罹患しており、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上になる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように、歯周病を予防または治療することを目的とする。重度慢性歯周炎または侵襲性歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な検査の実施および診断、治療計画の立案と歯周基本治療および歯周外科治療を行うことが要求される。そのために、歯周治療学の知識、技能を習得する。4年次では、歯周外科治療、メンテナンスおよびサポータティブペリオドンタルセラピーについて学び、次年度の臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。</p>
担当教員	*小方 頼昌、*中山 洋平、*吉野 祥一、*高井 英樹、*目澤 優、*加藤 彩子、*蔦森 麻衣、*相羽 悠喜子、*井澤 侑美、*齋藤 由未、*能田 佳祐、*高井 瑞穂、*小田 香織、*伊藤 正一、*松田 英雄、※若林 健史、※鈴木 真名
教科書	臨床歯周病学 第2版 吉江弘正ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 歯周治療学講座編
参考図書	歯周外科 見て学んではじめるガイド 小方頼昌 編著 クインテッセンス出版 ザ・ペリオドントロジー 第2版 和泉雄一ほか 永末書店 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一ほか 西村書店 ラタイチャークカラーアトラス歯周病学 第3版 日本臨床歯周病学会 永末書店
実習器材	顎歯模型、歯周外科治療用器具一式
評価方法 (E V)	平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>歯周治療は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。</p> <p>実習では、臨床の場を想定して主にファントム（マネキン）実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。</p> <p>講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/09 (火) 3時限	歯周実習 1-⑦ 歯周外科総論 歯	【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の	*小方 頼昌 *中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:10~14:40	周ポケット搔爬術 歯肉切除術	術式と適応を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 3. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	* 吉野 祥一 * 高井 英樹 * 目澤 優 * 加藤 彩子 * 鳥森 麻衣 * 相羽 悠喜子 * 井澤 侑美 * 齋藤 由未 * 能田 佳祐 * 高井 瑞徳 * 小田 香織 * 伊藤 正一 * 松田 英雄 若林 健史
2019/04/09 (火) 4時限 14:50~16:20	歯周実習1-⑦ 歯周外科総論 歯 周ポケット搔爬術 歯肉切除術	【授業の一般目標】 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式と適応を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周外科治療の種類とそれぞれの適応を説明できる。 3. 歯周ポケット搔爬術と歯肉切除術の術式を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周外科治療の種類とそれぞれの適応について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	* 小方 頼昌 * 中山 洋平 * 吉野 祥一 * 高井 英樹 * 目澤 優 * 加藤 彩子 * 鳥森 麻衣 * 相羽 悠喜子 * 井澤 侑美 * 齋藤 由未 * 能田 佳祐 * 高井 瑞徳 * 小田 香織 * 伊藤 正一 * 松田 英雄 若林 健史
2019/04/16 (火) 3時限 13:10~14:40	歯周実習2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 3. 縫合法の種類を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：新付着術 (ENAP) の術式について事前学習する。 事前学習時間：30分 新付着術 (ENAP) の術式と縫合法の種類を予習する。(目安時間 60分) 事後学習項目：新付着術 (ENAP) の縫合法について事後学習する。 事後学習時間：30分	* 小方 頼昌 * 中山 洋平 * 吉野 祥一 * 高井 英樹 * 目澤 優 * 加藤 彩子 * 鳥森 麻衣 * 相羽 悠喜子 * 井澤 侑美 * 齋藤 由未 * 能田 佳祐 * 高井 瑞徳 * 小田 香織 * 伊藤 正一 * 松田 英雄 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/16 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室、第 4 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史</p>
2019/04/16 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 2-⑧ 新付着術 (ENAP) 縫合	<p>【授業の一般目標】 新付着術 (ENAP) の術式と適応を理解する。縫合法の種類および方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 新付着術 (ENAP) の術式を説明できる。 3. 縫合法の種類を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：新付着術 (ENAP) の術式について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：新付着術 (ENAP) の縫合法について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室、第 4 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史</p>
2019/04/23 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義① 初診からサポート ィペリオドンタル セラピーまで①	<p>【授業の一般目標】 初診からサポートィペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の進め方について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の進め方について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 2 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患</p>	<p>*中山 洋平</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/23 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義① 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで①	ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 i メインテナンス、SPT<supportive periodontal therapy> 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*中山 洋平
2019/04/23 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習3-⑨ 咬合治療 暫間固 定 根分岐部病変 の処置 歯肉剥離搔爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合調整の方法を説明できる。 3. 暫間固定の目的を説明できる。 4. 根分岐部病変の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *小田 瑞徳 *伊藤 香織 *松田 正一 *若林 英雄 若林 健史
2019/04/23 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習3-⑨ 咬合治療 暫間固 定 根分岐部病変 の処置 歯肉剥離搔爬手術 (1) 切開線の記入	【授業の一般目標】 暫間固定の種類を説明できる。根分岐部病変に対する処置法を説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 咬合調整の方法について説明できる。 3. 暫間固定の目的を説明できる。 4. 根分岐部病変の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：暫間固定と根分岐部病変に対する治療法について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *小田 瑞徳 *伊藤 香織 *松田 正一 *若林 英雄 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/23 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 3-⑨ 咬合治療 暫間固定 根分岐部病変の処置 歯肉剥離掻爬手術 (1) 切開線の記入	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/05/07 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離掻爬手術 ② 剥離、掻爬、スケーリング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離掻爬手術に使用する器具の名称と使用方法を説明できる。 歯槽骨に対する処置（骨整形、骨削除、骨移植）について学ぶ。歯肉剥離掻爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 3. 歯肉剥離掻爬手術に使用する器具を説明できる。 4. 歯肉剥離掻爬手術の縫合法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/05/07 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離掻爬手術 ② 剥離、掻爬、スケーリング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	【授業の一般目標】 歯肉剥離手術の適応と禁忌、術式を説明できる。歯肉剥離掻爬手術に使用する器具の名称と使用方法を説明できる。 歯槽骨に対する処置（骨整形、骨削除、骨移植）について学ぶ。歯肉剥離掻爬手術の縫合法を習得する。 術後の注意点について説明できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯肉剥離手術の術式を説明できる。 3. 歯肉剥離掻爬手術に使用する器具を説明できる。 4. 歯肉剥離掻爬手術の縫合法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯肉剥離掻爬手術について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/07 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 4-⑩ 歯肉剥離搔爬手術 ② 剥離、搔爬、スケーリング・ルートプレーニング、骨整形、縫合	3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞穂 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/05/14 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義② 初診からサポータティブペリオドンタルセラピーまで②	【授業の一般目標】 初診からサポータティブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療の流れについて事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療の流れについて事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 i メインテナンス、SPT<supportive periodontal therapy> 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。	*高井 英樹
2019/05/14 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 5-⑪ 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：遊離歯肉移植術の適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：遊離歯肉移植術の術式について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術)	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞穂 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/14 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 5-① 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞穂 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/05/14 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 5-① 歯周形成外科手術 (1) 遊離歯肉移植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 遊離歯肉移植術の術式と適応を理解する。 遊離歯肉移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 遊離歯肉移植術の術式について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：遊離歯肉移植術の適応について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：遊離歯肉移植術の術式について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞穂 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/05/21 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類を説明できる。歯周形成外科手術の適応と禁忌を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周形成外科手術の種類、適応と禁忌を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周形成外科手術について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周形成外科手術について事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療	鈴木 真名 *小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/21 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周客員教授講義 マイクロスコープ と歯周形成外科手術	④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	鈴木 真名 *小方 頼昌
2019/05/21 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 6-② 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 結合組織移植術の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：結合組織移植術に関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：結合組織移植術に関して事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2019/05/21 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 6-② 歯周形成外科手術 (2) 結合組織移植術	【授業の一般目標】 歯周形成外科手術の種類と適応を説明できる。 結合組織移植術の適応と術式を理解する。 結合組織移植術の縫合法を理解し、実施できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 結合組織移植術の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：結合組織移植術に関して事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：結合組織移植術に関して事後学習する。 事後学習時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 *若林 健史
2019/05/28 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義③ 初診からサポータ ィブペリオドンタル セラピーまで③	【授業の一般目標】 初診からサポータィブペリオドンタルセラピーまでの一連の歯周治療を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。	*目澤 優

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/28 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周講義③ 初診からサポータ イブペリオドンタ ルセラピーまで③	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療（切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	*目澤 優
2019/05/28 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習7-③ 歯周組織再生誘導 法 画像診断 SP T・メンテナンス	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像 診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法の位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータイブペリオドンタルセラピー（SPT）とメインテナ ンスの重要性について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周組織再生誘導法について説明できる。 3. 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周組織再生誘導法の適応およびSPTとメンテナンスの違い について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周組織再生誘導法とSPTおよびメンテナンスについて事後 学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 i メンテナンス、SPT<supportive periodontal therapy></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明で きる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子 *葛森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史
2019/05/28 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習7-③ 歯周組織再生誘導 法 画像診断 SP T・メンテナンス	<p>【授業の一般目標】 歯周組織再生誘導法の適応と術式について説明できる。歯周治療における画像 診断の意義を説明できる。 歯周外科治療における再生療法の位置付けについて説明できる。 歯周治療におけるサポータイブペリオドンタルセラピー（SPT）とメインテナ ンスの重要性について理解する。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *加藤 彩子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/05/28 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習7-⑬ 歯周組織再生誘導法 画像診断 SP T・メンテナンス	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 歯周組織再生誘導法について説明できる。 歯周治療における画像診断の重要性を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周組織再生誘導法の適応およびSPTとメンテナンスの違いについて事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周組織再生誘導法とSPTおよびメンテナンスについて事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 i メンテナンス、SPT<supportive periodontal therapy></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。</p>	* 蔦森 麻衣 * 相羽 悠喜子 * 井澤 侑美 * 齋藤 由未 * 能田 佳祐 * 高井 瑞穂 * 小田 香織 * 伊藤 正一 * 松田 英雄 若林 健史
2019/06/04 (火) 2時限 10:40～12:10	歯周まとめ試験①、 解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療と歯周外科治療について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 歯周治療全般の治療の流れを説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周治療全般について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周治療全般について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療 (歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p>	* 小方 頼昌 * 中山 洋平 * 吉野 祥一 * 高井 英樹 * 目澤 優
2019/06/04 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習8-⑭ 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。 	* 小方 頼昌 * 中山 洋平 * 吉野 祥一 * 高井 英樹 * 目澤 優 * 蔦森 麻衣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/04 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周実習 8-④ 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	<p>*相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史</p>
2019/06/04 (火) 4時限 14:50～16:20	歯周実習 8-④ 実技試験 歯周治療学総括講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れの中で、歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周基本治療と歯周外科治療の役割を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療と外科治療の役割について事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、実習形式 板書、プリントおよびパワーポイントを使用する。</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優 *鳥森 麻衣 *相羽 悠喜子 *井澤 侑美 *齋藤 由未 *能田 佳祐 *高井 瑞徳 *小田 香織 *伊藤 正一 *松田 英雄 若林 健史</p>
2019/08/27 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周まとめ試験②、 解説講義	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解し、種々の症例に的確に対応できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 歯周治療の流れを理解する。 3. 歯周基本治療および外科治療で実施する内容を説明できる。 4. 歯周外科治療の種類と適応を説明できる。 5. 歯周治療で使用する器具の名称と目的を説明できる。</p>	<p>*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/08/27 (火) 3時限 13:10～14:40	歯周まとめ試験②、 解説講義	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 事前学習項目：歯周基本治療および外科治療全般を事前学習する。 事前学習時間：30分 事後学習項目：歯周基本治療および外科治療全般を事後学習する。 事後学習時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無 まとめ試験② パワーポイントを使用して解説を行う。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法、歯周組織再生治療)</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 e 歯周外科治療(歯周形成手術)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。</p>	*小方 頼昌 *中山 洋平 *吉野 祥一 *高井 英樹 *目澤 優

保存修復学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	*平山 聡司 (保存修復学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	保存修復学は、歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。 4年次では、3年次で学修した歯科保存学1の基礎的知識の深化と確立を図るとともに、5次年からの充実した臨床実習に向け、臨床術式や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	*平山 聡司、*神谷 直孝、*岡田 珠美、*岩井 啓寿、*寺中 文子、中島 光、*大塚 一聖、*井上 椋介、*島田 裕美子、*塚原 弾
教科書	保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編] 医歯薬出版
参考図書	第五版 保存修復学21 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 [監修] 永末書店 保存修復サイドリーダー 河野善治、平山聡司、鈴木英明 学建書院
評価方法 (EV)	保存修復における評価は以下の評価割合で判定する。 1) 講義に関する平常試験を2回実施し、その成績評価の90%。 なお、平常試験の追・再試験は行わない。 2) 実習に関するレポート作成を実施し、その成績評価の10%。
学生への メッセージ オフィスアワー	3年生で学修した保存修復学のまとめ講義と実習である。繰り返し学習することにより知識の深化を図ることが大切である。 なお、オフィスアワーは講義日に関わらず教授室在席時間中であれば午後5時以降に実施する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/11 (火) 2時限 10:40~12:10	保存修復講義① ：歯の硬組織疾患 と齶蝕の病因・病 態	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置方針が立案できるようになるために、齶蝕の病因・病態と齶蝕以外の硬組織欠損の原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 齶蝕の発症メカニズムについて説明できる。 3. エナメル質齶蝕の特徴について説明できる。 4. 象牙質齶蝕の特徴について説明できる。 5. セメント質齶蝕の特徴について説明できる。 6. 歯の硬組織疾患を列挙し、その特徴について説明できる。 7. 歯の硬組織疾患の原因について説明できる。 8. 歯の硬組織疾患の治療方針について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：エナメル質、象牙質、セメント質の正常構造と機能について復習しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題を解く。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齶蝕の病因 b 齶蝕のリスクファクター c tooth wear<歯の損耗> d 象牙質知覚過敏症 e 歯の変色・着色 f 歯の亀裂・破折</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の病因と病態を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/06/18 (火) 2時限	保存修復講義②： 硬組織疾患の検査	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な診断と処置が行えるようになるために、硬組織</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	法と修復前準備	<p>疾患の検査法と修復前処置について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 修復治療の診断に必要な検査法を説明できる。 検査に必要な器具の名称と使用法について説明できる。 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：硬組織の検査法と修復前準備の種類および使用目的について復習しておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題を解く。 事後学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/06/25（火） 2時限 10:40~12:10	保存修復講義③： 窩洞の名称と分類、 窩洞の具備条件	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、修復方法に応じた窩洞の具備条件について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 修復方法に応じた窩洞の具備条件を列挙できる。 修復方法に応じた窩洞外形の規定因子について説明できる。 修復法に応じた保持形態について説明できる。 修復法に応じた抵抗形態について説明できる。 修復法に応じた便宜形態について説明できる。 修復法に応じた窩縁形態について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前学修項目：窩洞の分類、窩壁の名称、線角・点角、窩洞外形の規定因子について復習しておく。 事前学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題を解く。 事後学修時間：60分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。</p>	*平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/25 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義③： 窩洞の名称と分類、 窩洞の具備条件	⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	* 平山 聡司
2019/07/02 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験1・解説 講義	【授業の一般目標】 修復講義①～③の範囲についてMCQによる試験を行う。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復講義①～③を復習しておく。 ・事前学修時間：180分 ・事後学修項目：試験問題の見直しを行う。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室	* 平山 聡司
2019/07/09 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義④： コンポジットレジン 修復・グラスアイ オノマーセメント 修復	【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、接着性修復法の特徴と歯質接着システムおよび臨床術式について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. コンポジットレジン修復法の術式について説明できる。 3. コンポジットレジンの歯質接着システムについて説明できる。 4. コントラクションギャップについて説明できる。 5. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：コンポジットレジンの組成と接着システムおよびグラスアイオノマーセメントの成分と特徴について復習しておく。 ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題を解く。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1） 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。	* 平山 聡司
2019/07/16 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑤： 変色歯、破折歯お よび象牙質知覚過 敏に対する処置	【授業の一般目標】 変色歯、破折歯および象牙質知覚過敏に対する適切な処置が行えるようになるために、その原因と診断および臨床術式について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 3. 生活歯漂白の術式を説明できる。 4. 歯の破折の診断とその処置法について説明できる。 5. 象牙質知覚過敏症の治療方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	* 平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/16 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑤： 変色歯、破折歯お よび象牙質知覚過 敏に対する処置	<p>・事前学修項目：変色歯の原因、歯の破折の検査法および象牙質知覚過敏症の特徴について復習しておく。</p> <p>・事前学修時間：60分</p> <p>・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題を解く。</p> <p>・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 d 象牙質知覚過敏症</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 e 歯の変色・着色 f 歯の亀裂・破折</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/07/16 (火) 3時限 13:10～14:40	保存修復登院前実 習：保存修復処置 の基本的術式①	<p>【授業の一般目標】 適切な齶蝕象牙質の除去が行えるようになるために、除去すべき齶蝕象牙質の検知と齶蝕除去に使用する切削器具の使用法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. 齶蝕象牙質の外層と内層について説明できる。 3. 齶蝕検知液による齶蝕象牙質の染め分け意義について説明できる。 4. 齶蝕象牙質の除去に使用する切削器具を列挙できる。 5. 齶蝕象牙質の除去に使用する切削器具が適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：う蝕検知液を使用したう蝕象牙質除去の術式と使用器具に関するWebclassで視聴しておく。 ・事前学修時間：20分 ・事後学修項目：再度Webclassで視聴し復習する。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 反転授業</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。</p>	*平山 聡司 *神谷 直孝 *岡田 珠美 *岩井 啓寿 *寺中 文子 中島 光 *大塚 一聖 *井上 棕介 *島田 裕美子 *塚原 弾

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/16 (火) 3時限 13:10～14:40	保存修復登院前実習：保存修復処置の基本的術式①	⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾
2019/07/16 (火) 4時限 14:50～16:20	保存修復登院前実習：保存修復処置の基本的術式②	<p>【授業の一般目標】 硬組織欠損に対する適切な修復処置が行えるようになるために、マトリックスリテーナーによる隔壁の設置と接着システムの使用手順、単純窩洞のレジン充填に使用する器具の使用法および術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. タップルマイヤー型マトリックスリテーナーによる隔壁の設置ができる。 3. コンポジットレジン修復の臨床術式を説明できる。 4. 2液性セルフエッチングプライマーによる歯面処理が行える。 5. 単純窩洞に対するコンポジットレジン充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：タップルマイヤー型リテーナーによる隔壁設置方法とセルフエッチングプライマーの使用法をWebclassで視聴しておく。 ・事前学修時間：30分 ・事後学修項目：再度Webclassで視聴しておく。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 反転授業</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 イ 歯質接着処理 a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p>	* 平山 聡司 * 神谷 直孝 * 岡田 珠美 * 岩井 啓寿 * 寺中 文子 中島 光 * 大塚 一聖 * 井上 椋介 * 島田 裕美子 * 塚原 弾
2019/07/23 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑥：間接修復法	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な処置が行えるようになるために、間接修復法の特徴と臨床術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 2. メタルインレー修復の特徴について説明できる。 3. メタルインレー修復の術式について説明できる。 4. セラミックインレー修復の特徴について説明できる。 5. セラミックインレー修復の術式について説明できる。 6. メタルインレー修復とセラミックインレー修復の窩洞の違いについて説明できる。 7. レジンコーティングの目的とその効果について説明できる。 8. 歯科用合着用セメントの種類と特徴について説明できる。 9. 仮封材の種類とその用途について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：メタルインレーとセラミックインレー修復の窩洞形態、術式</p>	* 平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/23 (火) 2時限 10:40～12:10	保存修復講義⑥： 間接修復法	<p>および合着用セメントについて復習しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料の復習と関連する歯科医師国家試験過去問題を解く。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学修媒体：配布プリント、マルチメディア</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯冠修復・義歯用材料 イ セラミックス a 陶材 b ジルコニア、アルミナ、ガラスセラミックス a 金合金 b 銀合金、金銀パラジウム合金 8 接着処理・技術 ウ 歯科材料接着処理 a セラミックス被着面処理 b 金属被着面処理 9 装着用材料 ア 合着・接着用セメント a レジンセメント b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p>	*平山 聡司
2019/08/27 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験2・解説 講義	<p>【授業の一般目標】 修復講義④～⑥の範囲についてMCQによる試験を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・事前学修項目：修復講義④～⑥を復習しておく。 ・事前学修時間：180分 ・事後学修項目：試験問題の見直しを行う。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	*平山 聡司

歯内療法学

年次	学期	学修ユニット責任者
4年次	前学期	*松島 潔 (歯内療法学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。4年次では、次年度の充実した臨床実習に向け、知識や問題解決について理解することを目的とする。
担当教員	*松島 潔、*辻本 恭久、*川島 正、*岡部 達、*神尾 直人、*鈴木 誠、*齊藤 梨紗、*染谷 ひとみ、*葉山 朋美、*吉田 陽子、*和田 健、*相浦 誠一郎、*安達 泰佑、*伊澤 真人、*上田 幾大、*大林 英美、*喜多詰 規雄、*五味 博之、*斎藤 一央、*酒井 きよ美、*塩沢 督、*高瀬 俊彦、*高橋 知多香、*田中 みどり、*塚田 典功、*寺澤 秀朗、*富田 敬、*中澤 弘貴、*中嶋 真樹、*長島 潔、*中沼 邦欣、*馬場 俊晃、*久松 弘幸、*福田 涼子、*細谷 史規、*三浦 孝司、*村上 芳弘、*本木 平和、*山浦 賀弘
教科書	歯内治療学 第4版 中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史、他 医歯薬出版 Endodontics Manual (歯内療法マニュアル) 松島潔 辻本恭久 他 歯内療法学講座
参考図書	エンドドンティクス 第5班 須田英明、中村洋他 永末書店
評価方法 (EV)	平常試験①、②による評価 (保存学-2の1/3の評価分) , 原則的に追再試験は実施しない。
学生への メッセージ オフィスアワー	適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 松島 : matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/09 (火) 2時限 10:40~12:10	歯内講義①: 患者の主訴と検査法から診断を導く	<p>【授業の一般目標】 歯髄炎・根尖歯周疾患を適切に診断できるために、患者の主訴から適切な検査法を選択および診断を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①患者の訴えを説明できる。 2. ②患者の主訴から、適切な検査法を説明できる。 3. ③患者の主訴および検査結果から診断名を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 キ 歯・歯周組織の診察 b 歯髄・根尖歯周組織の症状</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 c 歯内-歯周疾患 d 歯の外傷 e 内部吸収、歯根外部吸収</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p>	*岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/04/16 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内講義②：処置 の選択	<p>【授業の一般目標】 診断から、適切な処置を選択できるようになるために、処置の目的を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯内療法 of 適切な処置法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の症状を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填 f 根未完成歯の治療 g 外科的歯内療法 h 内部吸収歯・歯根外部吸収歯の治療 i 外傷歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。 ⑥失活歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。 ⑦歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/05/07 (火) 2時限 10:40～12:10	歯内平常試験①： 歯内講義-①, ②の 範囲	<p>【授業の一般目標】 患者の訴えから、適切な処置方針が立てられるようになるために、歯内講義-①, ②の範囲を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義①, ②の範囲</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 MCQタイプの試験</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p>	*岡部 達
2019/06/11 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義③：エッ クス線検査	<p>【授業の一般目標】 歯内療法 of 適切な診断ができるようになるために、エックス線写真像の読み取りを習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯周期の構造物とエックス線像の関係を説明できる。 2. ②正常像と異常増の違いを説明できる。 3. ③口内法で頬舌的位置関係の読影を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄・根尖歯周組織疾患の成り立ちを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/11 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義③：エックス線検査	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 0 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線検査）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*松島 潔
2019/06/11 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義④：歯内歯周疾患	<p>【授業の一般目標】 歯内療法の診断を適切にできるようになるために、歯内歯周疾患を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内歯周疾患を説明できる。 2. ②歯内歯周疾患の分類を述べられる。 3. ③歯内歯周疾患の成り立ちを述べられる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法のエックス線検査を説明できる。 根尖性歯周炎の成り立ちを説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論III 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論III 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	*松島 潔
2019/06/18 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑤：再根管治療	<p>【授業の一般目標】 再根管治療を行うにあたり適切に診断、処置ができるようになるために、混戦制し終焉の再発およびその処置を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①再根管治療に至る原因を説明できる。 2. ②再根管治療の適応を説明できる。 3. ③再根管治療の問題点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の治癒を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/18 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内講義⑤：再根管治療	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 c 歯髄・根尖歯周組織の症候（自発痛、誘発痛）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 c 歯髄・根尖歯周組織の症候（自発痛、誘発痛）</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 b 歯髄・根管検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 b 根尖性歯周疾患 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/06/18 (火) 4時限 14:50~16:20	歯内講義⑥：歯根吸収	<p>【授業の一般目標】 歯内療法の適切な診断、処置ができるようになるために、歯根吸収の原因、診断、処置を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯根吸収の原因を述べられる。 2. ②歯根吸収のメカニズムを述べられる。 3. ③歯根吸収の対応を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 骨のリモデリングを説明できる。 破骨細胞の機能を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 e 内部吸収、歯根外部吸収</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ⑦歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。</p>	*松島 潔
2019/06/25 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内講義⑦：根尖未完成歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 歯根未完成歯に対して適切な歯内療法ができるようになるために、アペキシフィケーション、アペキシゲネーシスについて修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根尖未完成歯の歯髄炎の処置を説明できる。 2. ②根尖未完成歯の根尖性歯周炎の処置を説明できる。 3. ③アペキシゲネーシスの治癒機転を説明できる。 4. ④アペキシフィケーションの治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根尖未完成歯を説明できる。 歯髄の機能を説明できる。</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/06/25 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑦：根尖未完成歯の歯内療法	セメント質、歯根膜の機能を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 f 根未完成歯の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*松島 潔
2019/06/25 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑦：根尖未完成歯の歯内療法	【授業の一般目標】 歯根未完成歯に対して適切な歯内療法ができるようになるために、アペキシフィケーション、アペキソゲネーシスについて修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①根尖未完成歯の歯髄炎の処置を説明できる。 2. ②根尖未完成歯の根尖性歯周炎の処置を説明できる。 3. ③アペキソゲネーシスの治癒機転を説明できる。 4. ④アペキシフィケーションの治癒機転を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 根尖未完成歯を説明できる。 歯髄の機能を説明できる。 セメント質、歯根膜の機能を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 f 根未完成歯の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*松島 潔
2019/07/02 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑧：歯内療法の診療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、基本的な歯内療法の術式、器具操作を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の処置の選択を説明できる。 2. ②歯内療法の処置方針を説明できる。 3. ③歯内療法の無菌処置を説明できる。 4. ④歯内療法の術式を説明できる。 5. ⑤予後の評価を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本的な術式および器具操作を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論	*松島 潔 *岡部 達 *神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/02 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内講義⑧：歯内療法の診療の流れ	<p>総論Ⅶ 治療</p> <p>2 歯・歯周組織・咬合の治療</p> <p>ア 基本的術式</p> <p>b 歯内療法</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p> <p>2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療</p> <p>b 歯髄除去療法</p> <p>c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>d 根管処置</p> <p>e 根管充填</p> <p>f 根未完成歯の治療</p> <p>g 外科的歯内療法</p> <p>h 内部吸収歯・歯根外部吸収歯の治療</p> <p>i 外傷歯の治療</p> <p>j 偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p> <p>E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療</p> <p>②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> <p>③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。</p> <p>④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> <p>⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。</p>	*松島 潔 *岡部 達 *神尾 直人
2019/07/02 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑨：歯内療法と基礎医学の関わり	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な診断、処置ができるようになるために、歯内療法にかかわる基礎医学を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. ①歯内疾患の原因を説明できる。</p> <p>2. ②歯髄炎、根尖歯周疾患の病理を説明できる。</p> <p>3. ③歯髄炎、根尖歯周疾患の組織内変化を説明できる。</p> <p>4. ④歯髄炎、根尖歯周疾患の痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>歯内疾患の原因となる微生物を説明できる。</p> <p>炎症における病理変化を説明できる。</p> <p>炎症における生化学的変化を説明できる。</p> <p>痛みの伝達を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無、黒板、スライド、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 全身・口腔の生態系</p> <p>a 常在微生物叢</p> <p>b 微生物の構造・一般性状</p> <p>7 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念</p> <p>b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>i 嚢胞（歯原性、非歯原性）</p> <p>8 主要な症候</p> <p>イ 口腔・顎顔面領域の症候</p> <p>c 歯髄・根尖歯周組織の症候（自発痛、誘発痛）</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅲ 病因、病態</p> <p>2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態</p> <p>ア 主な病因・病態</p> <p>b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p> <p>2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態</p> <p>a 歯髄疾患</p> <p>b 根尖性歯周疾患</p> <p>e 内部吸収、歯根外部吸収</p> <p>f 根尖性歯周疾患が全身に及ぼす影響</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能</p> <p>⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p>	*松島 潔 *岡部 達 *神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/02 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内講義⑨：歯内療法と基礎医学の関わり	②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*松島 潔 *岡部 直人 *神尾 直人
2019/07/09 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内平常試験②：歯内講義③～⑨の範囲	【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義③～⑨の範囲 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室	*松島 潔
2019/07/09 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。	*松島 潔 *岡部 直人 *神尾 直人
2019/07/23 (火) 3時限 13:10～14:40	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 e 根管充填	*松島 潔 *岡部 直人 *神尾 直人 *吉田 陽子 *鈴木 誠 *葉山 朋美 *深井 譲滋 *齊藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳代 相浦 誠一郎 安達 泰佑 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 高瀬 督 高橋 俊彦 田中 知多 塚中 香 田中 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/07/23 (火) 3時限 13:10~14:40	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>*松島 潔 *川島 正達 *岡部 直人 *神尾 陽子 *吉田 誠 *鈴木 朋美 *葉山 譲 *深井 滋 *齋藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳 *相浦 誠一 *安達 泰佑 *伊澤 真人 *上田 幾大 *大林 英美 *喜多 規 *五味 博之 *齋藤 一央 *酒井 美 *塩沢 督 *高瀬 俊彦 *高橋 知多 *塚中 功 *田澤 秀朗 *寺富 敬 *中澤 弘貴 *中嶋 真樹 *長島 潔 *中沼 邦欣 *馬場 俊晃 *久松 弘幸 *福田 涼子 *細谷 史規 *三浦 孝司 *上村 芳弘 *本木 平 *山浦 賀弘</p>
2019/07/23 (火) 4時限 14:50~16:20	歯内実習：歯内療法の治療の流れ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法は無菌操作、安全に行う基本的術式を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法は無菌処置ができる。 2. ②術前の検査ができる。 3. ③ラバーダム防湿の装着ができる。 4. ④根管拡大操作ができる。 5. ⑤安全な根管洗浄ができる。 6. ⑥ペーパーポイントを用いた根管乾燥ができる。 7. ⑦適切なマスターポイント試適ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法は無菌処置ができる。 歯内療法の基本的な術式および器具操作ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、マネキン、歯内療法で用いる器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p>	<p>*松島 潔 *川島 正達 *岡部 直人 *神尾 陽子 *吉田 誠 *鈴木 朋美 *葉山 譲 *深井 滋 *齋藤 梨紗 *染谷 ひとみ *和田 健 *石井 理裕 *菅原 千佳 *相浦 誠一 *安達 泰佑 *伊澤 真人 *上田 幾大 *大林 英美 *喜多 規 *五味 博之 *齋藤 一央 *酒井 美 *塩沢 督 *高瀬 俊彦 *高橋 知多 *塚中 功 *田澤 秀朗 *寺富 敬 *中澤 弘貴 *中嶋 真樹 *長島 潔 *中沼 邦欣 *馬場 俊晃 *久松 弘幸 *福田 涼子 *細谷 史規 *三浦 孝司 *上村 芳弘 *本木 平 *山浦 賀弘</p>
2019/08/27 (火) 4時限 14:50~16:20	歯内平常試験③：歯内療法学の全般にわたる範囲	<p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法学の全般にわたる範囲</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 MCQタイプ試験</p>	*松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/08/27 (火) 4時限 14:50～16:20	歯内平常試験③： 歯内療法学の全般 にわたる範囲	【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第4実習室	*松島 潔